

遠賀町防災シンポジウム(令和元年5月22日)



国土交通省 九州地方整備局
遠賀川河川事務所

日時：令和元年5月22日(水) 18:30~20:30

場所：遠賀町中央公民館 大ホール

出席者：遠賀町23区の自主防災組織員、女性防火防災クラブ等ボランティア団体、遠賀町職員、
防災士、消防署員、一般町民

内容：「災害は忘れる前にやってくる。遠賀川と共に生きる私たちが今、できること。」をテーマ
に講演。

講演1：遠賀川氾濫が迫ったその時に・・・ 『遠賀川河川事務所 副所長 松岡 忠浩』

講演2：「命を守る」ための自助・共助・公助～平成30年7月豪雨の教訓から～ 『飯塚市防災危機管理監 吉田 英紀』

松岡副所長による講演



飯塚市防災危機管理監吉田様による講演



会場の様子



- 住民に国土交通省が公表している水位や浸水ナビを周知
- 自治体で作成するマイ防災マップやマイタイムラインの有用性を説明
- 避難のタイミングと避難の重要性を住民に再度確認
- 遠賀町老良地区住民より『近くに避難場所がない』との意見→国の制度として防災STがあることを情報提供

防災講演による防災知識の普及促進(令和元年度)

○遠賀川河川事務所では、小学校や自治会等に対して防災講演会を実施し、防災知識の一層の普及促進に取り組んでいる。(平成29年9地区 約1500人、平成30年14地区 約1800人)

○令和元年6月2日には北九州市八幡西区木屋瀬自治会主催の避難訓練にあわせて防災講演会を開催。また、同日開催の遠賀町老良地区避難訓練防災勉強会へは防災知識の入手方法についてのチラシや【国土交通省防災教育ポータル】の子ども向け動画「洪水から身を守るには ～命を守るための3つのポイント～」を提供し活用頂いた。



【国土交通省防災教育ポータル】の動画視聴の様子

北九州市八幡西区木屋瀬での講演会風景(講演参加者:約180人)

遠賀町 老良地区での防災勉強会(参加者:約110人)

実際に小学校の3階(浸水深5m以上でも安全な場所)への避難訓練を実施後、体育館にて講演を実施。

～ 木屋瀬の講演会参加者の感想 ～

- ・どこで災害が起きてもおかしくない最近の天災状況なので、このような集まりがあることは、とても良いことだと思います。
- ・家族ときちんと話し、災害が起きる前に確認しようと思いました。
- ・常日頃から防災グッズを備えたり、安全な避難経路を確認しておくようにしたいと思います。地球温暖化に伴う気象変動で、遠賀川の水流も1.3倍位増えるということで、意識を変えて、水害に備えようと思った。
- ・一人一人の生命を守るために、日頃の取組や、一人一人の意識が大切だと感じた。避難するタイミングが分からずに、逃げ遅れることが多くあるので、声掛けが一番だと思う。災害の時こそ目配り、気配り、心配りが必要だと感じた。

【講演会アンケート質問内容】

- ・近年の洪水(増水時・被災現場の写真、動画など)
- ・木屋瀬地区の浸水想定(範囲、浸水深、浸水の広がり)
- ・早めの避難の必要性(避難経路の浸水写真)
- ・防災情報の入手方法について
- 避難行動のタイミング、マイタイムライン

・避難指示等が出た場合に、実際に避難してみようと思いませんか

全ての項目で95%以上の方が「とても参考になった」または「参考になった」と回答

約8割の人が実際に避難してみようと思うと回答

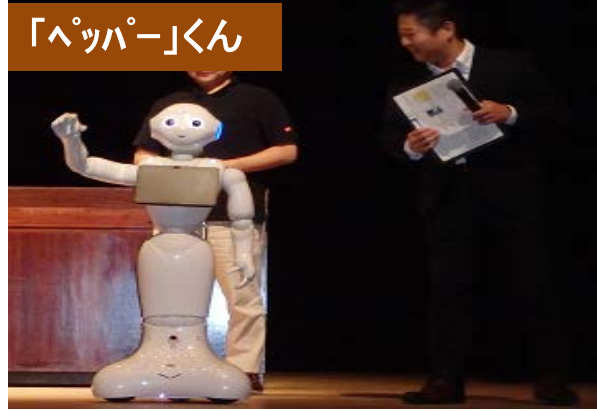
「実際の避難行動訓練」と「避難行動のタイミングについての内容を含む講演」を併せて行うことで、避難行動を起こすことへの意識改革に繋がることが期待できる

今後も、引き続き講演要請への対応に加え、自治体職員による防災講演用資料となる材料の共有、勉強会や資料作成等の支援を行う予定。

いづか防災フェア～いのちを守るみんなの防災～in飯塚



日時：令和元年8月31日（土）13：00～16：00
場所：イズカコスモスコモン
主催：飯塚市
協力：九州災害情報（報道）研究会、遠賀川河川事務所、福岡管区气象台、関係機関等
内容：「遠賀川のリスク」を知る 解説：遠賀川河川事務所
 「いのちを守る防災気象情報」の見方 解説：福岡管区气象台
 「いのちは自分で守る」 報告：飯塚市教育委員会
 「いのちを守る地域の取り組み」 3地区 自主防災組織の活動報告
 パネルディスカッション パネリスト：気象キャスター、新聞記者、地区代表者 等



- 飯塚市民中心に約500名程が参加
- 遠賀川河川事務所より過去の被害状況や近年の全国的な災害を紹介し、防災への備えや情報収集などを説明
- 福岡管区气象台より近年の雨の降り方や気候変動について説明
- パネルディスカッションでは気象キャスターや地区代表者による「避難につながる防災情報」などをテーマに討論された。
- 自主防災組織の活動事例では高雄地区や鎮西地区の方から報告がなされた。



パネル展示の様子

各自治体へ事前に調査させて頂いた講演会、勉強会の状況について共有

今後実施される講演会等各自治体間で情報交換を実施し、防災意識の普及啓発を推進

近年の豪雨については報道機関による取り扱いも多く、住民の方も危機意識が上がってきていることが想定される

→幅広く一般へ防災知識の普及をより進めていくことで、防災意識の向上が期待できる

今回各自治体での講演に活用できそうな資料としてDVDを配布

- ・遠賀川河川事務所で使用しているPPT資料
- ・決壊動画等